

水道事業予算が決まりました



水道水の水質管理体制をより一層強化するため、自己検査を開始します。



老朽管の取り替えに併せて、耐震性に優れた水道管へ取り替えています。

平成十四年度の水道事業会計当初予算が決まりました。今年度は、四月に市長選挙が実施されるため、大型事業を除いた骨格予算となっています。今年度も水道使用量の伸びが期待できず、水道料金収入が前年度より減収になることが見込まれます。このような厳しい経営環境の中でも、「安全な水道水の確保」のための取り組みや、「安定的な水道水の供給」のための取り組みは積極的に進めていきます。

（ 53 7914 ）
お問い合わせ先 水道局財務係

また、事務の効率化と経費節減のため、水道料金の口座振替済通知書(領収証)の郵送を廃止。これに替わるものとして水道メーターの計量時にお配りする「使用水量のお知らせ」に上下水道料金の口座振替結果を表示します。今後とも事業の効率化を行い、健全財政を維持していきます。

平成14年度当初予算

(単位：億円)

		予算額	伸び率(%)
収益的 収支	収 益	31.20	7.4
	・水道料金	28.43	
	・その他	2.77	
	費 用	30.19	0.1
	・人件費	7.24	
	・動力費	1.12	
	・減価償却費	9.92	
	・支払利息	5.63	
	・その他	6.28	
	差 引	1.01	
資本的 収支	収 入	11.45	65.6
	・企業債	6.55	
	・工事負担金など	4.90	
	支 出	23.62	49.7
	・建設改良費	18.66	
	・企業債償還金	4.96	
	差 引	12.17	
財 政 規 模		53.81	30.3

資本的収支の差引不足額12.17億円は、収益的収支の減価償却費や利益剰余金などで補てんします。なお、資本的収支の伸び率が大きく減少しているのは、平成14年度当初予算を骨格予算としたためです。

予算の主なもの

安全な水道水の確保

- 自己水質検査体制の整備 549万円
- 鉛管対策 2,600万円
- 鉛水質基準強化に向けた鉛給水管の取替

安定的な水道水の供給

- 耐震管への布設替など 3億991万円
- 配水施設の整備 5億9,423万円
- 桂見系・米里系・砂丘系・末恒系および面影系の各配水施設の整備拡充
- 施設の安全対策 1億6,981万円
- 千代川水管橋補修
- 送水ポンプ点検修理など
- 水源の確保 6,979万円
- 殿ダム負担金など

有収率の向上対策

- 漏水調査および修理 1億2,098万円
- 漏水調査
- 公道漏水修理
- 水道メーターの購入および取替 2,143万円
- 計量法の規定に基づく取替など

広報活動の推進

- 水道モニター制度・水道週間行事の実施・インターネットホームページの充実など 405万円

水道予算の用語

収益的収支 水道水をつくり、家庭に送り届けるための経費とその財源を示します。

動力費 水道水をお届けするために必要な電気料金

減価償却費 水道施設等の固定資産を耐用年数に応じて費用分配した額

支払利息 国などに支払う借入金の利息

資本的収支 水道施設を新設、改良および更新するために必要な経費とその財源を示します。

企業債 施設の新設や更新のための国などからの借入金

企業債償還金 国などに支払う借入金の元金